



じょうほくの森とは

城北小学校ができて40年。
当時ここは沼地や田圃といった土地でした。
いまは住宅地に代わり、たくさんの方が住んでいます。
学校は広域避難場所でもあり、大地震などのときには人々の命を救う場所です。
関東大震災や戦災の時には清澄庭園や湯島公園など常緑広葉樹の豊かな森に囲まれた避難場所は多くの命をすくいました。

じょうほくの森は普段は子どもたちが美しい自然に触れることができ、沢山の鳥や動物たちが集まる「環境保全林」として愛され、災害時には「防災林」として私達の命を守ってくれる、そんな森を目指しています。

この土地に適した常緑広葉樹を主とする29種類の多様な樹種を60%間隔で植えました。間伐はせず、剪定も最小限にして、自然の姿を保ちます。

子どもたちと保護者、地域のみなさまとで植えた「じょうほくの森」を、自然に満ちた「じょうほくの森」を、命を守る「じょうほくの森」を子どもたちの成長とともにそっと見守ってください。

植樹の記録

	日時	植樹本数	植樹面積
第一回植樹祭	平成22年9月25日	1,750本	358㎡
第二回植樹祭	平成27年10月31日	1,903本	384㎡
合計		3,653本	742㎡



植樹祭のようす 平成22年9月25日



植樹祭のようす 平成27年10月31日

主な樹種

高木: シラカシ



スタジイ



タブノキ



ケヤキ



亜高木: ヤブツバキ



シロダモ



ネズミモチ



低木: クチナシ



ヤマブキ



ムラサキシキブ

